

認知症に関する活動計画(概要)

福島県作業療法士会では研修会を開催し、作業療法士の専門性を活かした認知症支援の普及を進めました。

一方で、一般市民に対しては日本作業療法士協会制作の動画『二本の傘』を活用し、作業療法士が認知症の方へどのように関わっているかをわかりやすく伝えました。

また、会津支部を中心とした認知症カフェ「しゃべりば」を継続的に開催し、交流や予防的活動を通じた地域支援を展開しました。

今後は、福島県作業療法士会会員を対象にアンケート調査を行い、認知症支援における現状と課題を把握します。その結果を研修企画や活動計画に反映し、会員にとってより有益な取り組みへとつなげてまいります。

福島県訪問リハビリテーション研究会活動

福島県訪問リハ研究会において「在宅における認知症リハビリテーション」と題した研修会を実施しました。作業療法士が講師を務め、PT・OT・STを対象に、訪問リハビリの場においても認知症リハビリテーションが推進されている現状を踏まえながら、認知症の方の応用的動作能力や社会適応能力を最大限に活かし、生活機能を改善するための支援について理解を深めました。



作業療法魅力体験フェスタの実施

一般市民に対し、須賀川市で開催された「作業療法魅力体験フェスタ」において、日本作業療法士協会制作の動画『二本の傘』を上映しました。動画を通して、作業療法士が認知症の方へどのように関わっているかをわかりやすく伝えることで、地域の方々に作業療法士の役割や認知症支援の重要性について理解を深めていただきました。



認知症カフェ事業

会津支部では認知症カフェ「しゃべりば」を継続的に開催し、作業活動を通じて自然な交流を促進することで、地域における予防的な活動や認知症への理解を広げています。今後も住民が安心して参加できる場として定着してきています。

